

## 実践編 Part-5 その7

今月のお客様は、慎太郎君26歳。ずっと当店を利用していましたが、前回、大手量販店で浮気購入。そのメガネの具合が悪く、我慢しながら使っていたけれども、我慢できずに、また戻ってきてくれました。

そりゃ、当店の技術を、他店に期待するのは、無理よねえ・・・

今後も、期待を裏切らないよう、腕を奮って調整しましょう。



では、いつもの様に所見から

- 1、フロントが順反りしているのを、180度に。
- 2、テンプル幅がゆるゆるなのと、形状も合わせて調整。
- 3、クリングスパッドの位置が高く、パッド間隔をかなり広く。
- 4、前傾角が、あまりついていないので、7～8度になるように。
- 5、モダンな、ゆるゆる、長さ自体をカットの必要があるかも？

以上の点を特に注意しながら、調整していきましょう。

## ○反り角、テンプル幅・形状の確認



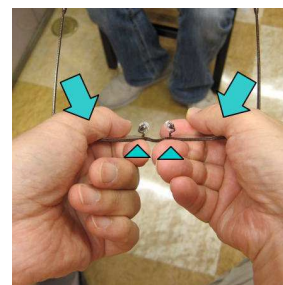
フロントを上から観察すると、やや順反りに見えます。



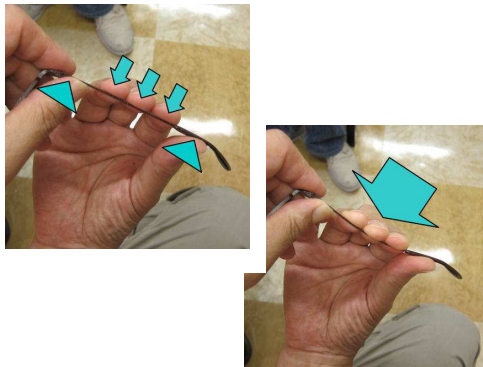
フレームの観察も大事です。順反りの程度を確認しながら、それを調整しましょう。



順ゾリの調整と共に、テンプルの幅、形状も確認です。だいぶ緩そうなので、しっかりとテンプル幅を狭くしましょう。

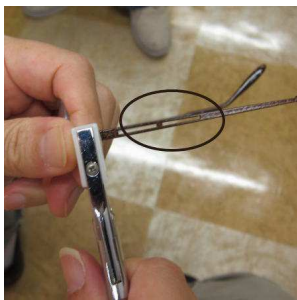


全ての調整は、コントロールしながら行います。反り角の調整も、必ず、何をどれぐらい？どうするのか？考えながら、調整していきましょう。手さばきを参考にしてください。

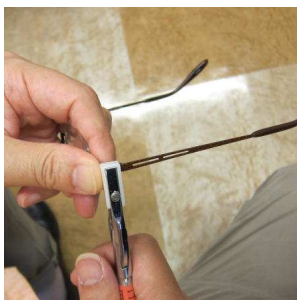


形状の調整をしましょう。  
 右テンプレの形状を、やや抱え込みになっていたのを、それを直線的にしていきます。  
 両親指を土台に、人差し指、中指、薬指の3本で、テンプレを押し込みながら抱え込みの形状を直線にしていきます。左テンプレは、玉型天地逆にすると、同様に作業できます。

### テンプレ幅調整



右テンプレ幅を狭めます。角度がブレ無いように、対のテンプレと重ねて、調整します。  
 使用するヤットコはニシムラ No.642 です。



これは、ダメな例です。雑な調整です。調整後に、テンプレを畳んだ時にテンプレ角がブレる恐れが大いにあります。傾斜角も変わってしまう事もあります。また、左テンプレ幅の調整は、形状の調整同様に、玉型天地逆にすると同様に作業できます。



写真では、見づらいですが、テンプレがもみあげの辺りに近づくと、そっと（テンプレが）触り始める感じで良いです。

例えて言うならば、テンプレと、もみあげあたりが、飛行機が滑走路に着陸するイメージです。これを「(テンプレの) 進入角を揃える」と云います。



シャキッとしました。人の顔の側面は、この様に直線的に合わせるケースが多いです。

### ○クリングスの調整

交換前



交換後



大きさを比べてみる



クリングスパッドは、小型だったので、一回り大きなサイズに交換しました。